

一般質問から

女性消防士の積極的採用について

消防行政において女性の視点を取り入れていただき、きめ細やかな配慮のもと、特に救急救命士において女性ならではの対応の支援を期待するものですが、女性消防士の積極的採用について、お伺いします。

小倉 順子

女性消防士採用の必要性につきましましては、十分認識しているところです。採用にあたっては、受け入れる庁舎の環境整備が不可欠であり、今後とも他の消防本部における就業状況を参考にしながら、採用を検討してまいります。



第二清掃工場の解体について

東埼玉資源環境組合第二工場解体工事費 約11億円予算化(17年12月議会)。解体工事にあたって、工場周辺住民や八條北小学校及び八條中学校に通学している児童・生徒への健康が心配されます。

豊田 吉雄

アスベスト、ダイオキシンなどの安全対策について、市として周辺住民、保護者への説明会を行うように資源環境組合に求めるべきと思いますが、いかがでしょうか。

解体工事に伴うアスベストにつきましましては、非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針に従い、適正な

解体工事を行うと伺っています。ダイオキシン類は、解体業者による追加調査を実施後、濃度に応じた管理区域計画や除染、解体方法等の計画を作成し、春日部労働基準監督署の協議を経て解体施工計画に基づき、的確な解体工事を行うとのこと

広沢 昇

です。説明については、周辺住民の皆様や通学している児童生徒の安全対策等について、より一層の安全配慮をすとも、今後、きめ細かい対応を東埼玉資源環境組合にお願いしていきたいと存じます。



市長の政治姿勢について

これからの時代は、行政と市民が一緒に考えて、まちづくりを推進することが必要と考えます。多田市長は、選挙公約である「市民の意見を市政に活かすまちづくり」を進めるために市民参画・協働の在り方について(パブリックコメントを含めて)どのように考えているのかお尋ねします。

朝田 和宏

会を形成していくためには、多くの市民がまちづくりに参画し、市民と行政が協力、連携してまちづくりをすることが必要であります。市民と行政がそれぞれの役割を考え、よきパートナーとしてまちづくりを進めていくことが、本当に重要であると感じています。

今後はパブリックコメント制度の導入も併せ、調査・研究を行ってまいりたいと考えています。

また、市民ニーズは多様化・複雑化しており、時代にふさわしい個性豊かで活力ある地域社

就学援助制度について

法改正により就学援助への国庫補助金が生活保護世帯だけに、準保護世帯への補助がなくなりました。八潮市の基準で変わった点があるのかお伺いします。

池谷 和代

文部科学省が示した基準は、生活保護の停止・廃止を受けた時、市民税・個人事業税・固定資産税の非課税・減免された時、国民年金及び国保税の免除・徴収を猶予された時、児童扶養手当の支給を受けている時に援助の対象となります。

また、「民生委員の意見書」は、政令がなくなり必要になりませんが、八潮市としては、民生委員の所見など5つの事項を追加し、該当する場合は総合的に可否を判断し、決定することができるとしました。

(仮称)新中川橋の開通時期について

共和橋や潮止橋の交通混雑解消のための、(通称)22メートル道路に架かる(仮称)新中川橋の一日も早い開通が待たれています。

今後、平成18年度に残り3基の工事を予定しており、平成19年度には、橋桁架設、平成20年度に擁壁を伴う取付道路工事を予定しており、平成21年度には開通できる見通しです。

現在の工事の状況と新しい橋の開通見通しについてお伺いします。

今後、平成18年度に残り3基の工事を予定しており、平成19年度には、橋桁架設、平成20年度に擁壁を伴う取付道路工事を予定しており、平成21年度には開通できる見通しです。

市有財産の有効活用と市民要望に応える方策について

市内に3箇所の教職員住宅を所有していますが、それぞれ空室があります。特に、小作田住宅は46戸中、38戸が空室です。その一方、市営住宅は、空家募集に10倍から26倍の高倍率です。教職員住宅を整理統合し、市営住宅へ転換を図り、お困りの方の要望に応え、又、それにより、家賃収入が得られ一石二鳥と考えますが、市の考えを伺います。

大久保龍雄

「ご指摘のとおり、少子化や民間アパートを利用する教員が増え入居者が減少しています。小作田教職員住宅につきまし

